

# 東京農業大学と西条市が 教育・研究交流協定を締結しました

## これまでの連携活動

### ①食品加工流通コンビナート 構想

「食品加工流通コンビナート構想」の総合的な指導とともに、その実現に必要な情報を交換することを目標とした総合食料産業技術懇談会で中心的役割を担っていたいただいています。

### ②西条産品の販路拡大

地域の自立・自活に資する「攻めの農業」の足掛かりとして、タイ国への西条産品・四国産品の輸出販路拡大事業を推進する中、タイ国主要機関との調整に尽力いただくとともに、西条市とタイ国との良好な関係づくりに支援をいただいています。

### ③まちづくり講演会

昨年10月に同大学の前学長である進士五十八教授を講師

に迎え、「地域らしさのあるまちづくり」をテーマに、講演会を開催しました。講演では、市民・企業・団体との連携が最も重要であるとの観点から、自然と人間の調和共存環境をどう実現するか、具体的な技術解説を交えてお話しいただきました。

## これからの連携活動

西条市には日本一の収穫量を誇る「あたご柿」「裸麦」をはじめ、多様な農産物が生産・加工・販売されており、約4700鈔に及ぶ経営耕地や約400鈔の耕作放棄地があります。

これらの有効活用や、現在約70%に達する市内食料自給率のさらなる向上など、地域活性化の課題について、今回の協定締結を契機に「東京農業大学における教育・研究の充実」「西条市における教育・研究成果の活用による地域活性化」の両面で、相互にプラス効果が現れるよう、多様な分野の連携活動を積極的に推進していきます。

このたび東京農業大学と西条市との間で「教育・研究交流協定」を締結することとなり、3月14日(金)に大澤貫寿学長ほか大学関係者および伊藤市長ほか市関係者の出席のもと、東京農業大学理事長室において調印式が執り行われました。

東京農業大学は、1891年に農業を発展させるための教育機関として、榎本武揚によって創設されました。以来117年に及ぶ教育研究活動の中で「実学に基づく教育・研究」を通して多様な人材を輩出しており、農学、生命科学、環境科学、バイオ産業学など、多様な学問分野の教育研究に取り組む国内外トップクラスの農学系総合大学へと発展しています。



▲協定書に調印する大澤貫寿学長と伊藤市長



▲食品加工流通コンビナート構想、西条産品の販路拡大などにご尽力いただいている東京農業大学の山本出名誉教授



▲東京農業大学の前学長である進士五十八教授を講師に迎えて開催された「まちづくり講演会」

## システム農学会2008春季大会 開催決定!

命と暮らしの根幹に関わる日本の「食」と「農」を見つめ直し、真に豊かな「食」と「農」のあるべき姿と、その実現方策のヒントを、地域の暮らしや生産、教育の現場から考える機会として、研究者や学生が地域に学び、市民と対話する「システム農学会2008春季大会」を開催します。

■問合せ 市庁舎本館企画課 TEL0897-52-1466

開催日：5月23日(金)～25日(日)

場所：総合文化会館

テーマ：地域から見つめる『食』と『農』のいま、未来

内容：シンポジウム、研究発表など

※詳細は5月号の広報紙でお知らせします。